

P42 代替医療としての桑葉加工食品による体内代謝に与える有効性

○小野寺 敏（昭和薬科大学）、緑川啓一（緑川内科循環器科）、中澤文秀（株・ピーウォッシュ）、福田栄一、八並一寿（玉川大学農）

{目的} かつて日本の大きな産業の一つであった養蚕業で使用された桑の葉には、様々な成分が含み、現在まで生体に有効性を示すことが明らかにされてきた。特に、血糖値効果作用、コレステロール低下作用、脂質低下作用、高血圧の抑制、DNAの損傷に対する細胞予防効果などがある。今回桑葉やその加工食品である「桑ポリス（桑葉エキスとプロポリスのブレンド）」において血糖値効果作用と脂質低下作用について検討した。

{方法} 桑葉は、新鮮桑茶をカプセルに詰めたものを用いた（マルベリーダイエット：株式会社クワポリス）。桑ポリスは、新鮮桑葉エキスとブラジル産プロポリスを配合したものを用いた（株式会社クワポリス）。スポーツジム（株式会社ピーウォッシュ）において、マルベリーダイエットを、食前一日三回を一ヶ月間服用し、形態測定、中性脂肪、総コレステロールなどの測定をおこなった。桑ポリスの血糖値に与える影響は、糖尿病患者において検討された。

{結果・考察} 中性脂肪の高い人ほど中性脂肪の改善が見られた。また形態測定においても、顕著な変化が見られた。糖尿病患者においては、血糖値の改善、さらに肝機能障害を伴う糖尿病患者では、中性脂肪の改善および血糖値の改善が見られた。